

平成25年度・復興庁「新しい東北」先導モデル事業

食とエネルギーの循環を活用した戦略的農業ビジネス展開事業(福島県伊達市霊山町小国地区)

—NPO法人再生可能エネルギー推進協会・下小国区民会—

平成25年7月に復興庁が公募した「新しい東北」先導モデル事業について上記題目と下記の内容にて応募した提案が採択されました。取組1～3が支援対象。支援期間は平成25年10月から平成26年3月まで。

事業の目標

- 地域の特徴を活かした農業の6次産業化による持続可能な農業ビジネス経営の創出と展開
- 地産地消の再生可能エネルギー創出によるエネルギー燃料および肥料コストの軽減と持続可能な自立
- 若者の就業の場創出と農地および農業技術後継者の育成
- 高齢者の活躍による地域活性化と健康増進

取組の内容(平成25年10月～平成27年3月を予定)

【取組1】 小国ブランド農産物栽培事業

内容:除染農地および放射能汚染のない培地などにより有機大豆栽培、ナツハゼ栽培、畑わさび栽培などを行い、それを加工品に使用。すでに出荷されているトマトやキュウリを栽培しその加工品を製造。



写真の草地部分(約1ha)が農地、右上の小屋を温室に改造予定。この他にも大豆栽培用農地(約0.5ha)を準備

【取組2】 小国ブランド加工食品製造事業

内容:ナツハゼジャムの試作、豆腐の試作などのほか、地元食品加工会社との新製品共同開発



森藤食品工業(株)と共同で新しい商品を開発



試作のナツハゼジャム



試作の豆腐とおからサラダ

【取組3】 エネルギー・燃料・肥料事業

内容: 農産物および加工食品工場残渣のメタン発酵によるバイオガス製造と消化液の液肥利用

エネルギー作物(デントコーンなど)の栽培とメタン発酵への利用



容量500Lのメタン発酵槽



BDF製造用装置



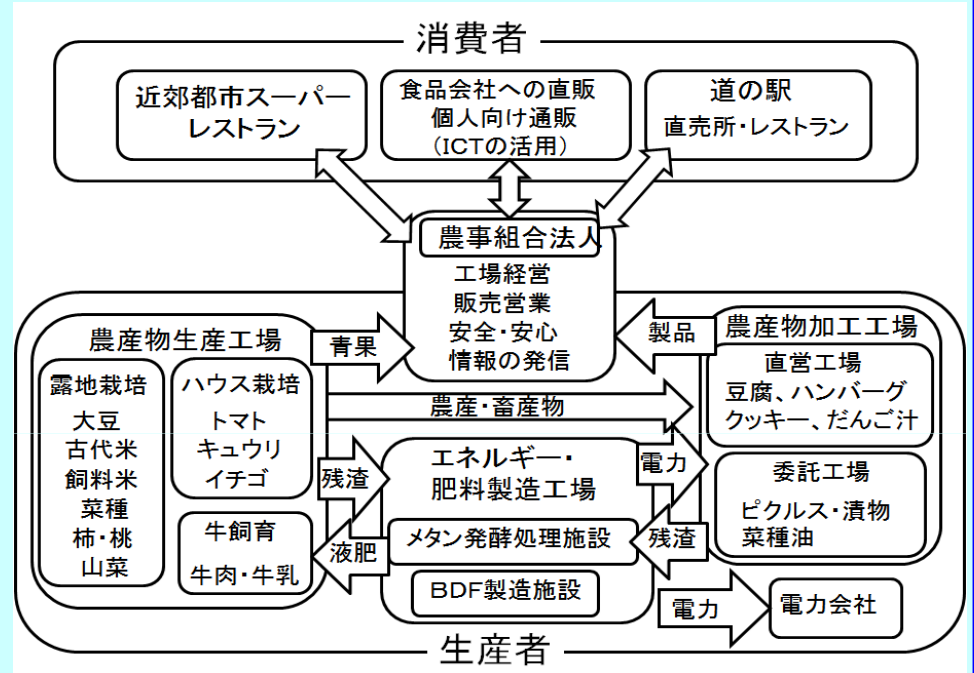
バイオガスによる発電



稲作への消化液利用

【取組4】 農事組合法人設立事業

内容: 戦略的な農業ビジネス経営の基礎となる体制を構築、商品開発、ICT技術を駆使した情報発信、市民ファンドなども検討



2013年6月下小国対話集会



豆腐とおからサラダ試食会